



## 伊藤 通明氏プロフィール

1936年福岡県生まれ。宗像郡福間町生。大学時代、安住敦の句文に接したことから俳句をはじめ。1962年、同人誌「裸足」創刊編集。1967年、「春燈」入会、安住敦に師事。1986年、「裸足」を「白桃」に改称し主宰。句集に白桃」「西国」「蓬莱」「荒神」、編著に「久保田万太郎」などがある。

### 『荒神』（自選15句）

伊藤 通明

ももいろをはなれて桃の花傘  
白桃をすすむによよといふ容  
西行忌こゑを使はず喜れにけり  
淡雪やさくらと呼びしえびの魚  
鷹の座は断崖にあり天の川  
螢火の遠き一つは観世音  
一生の一師に戻さしころもがへ  
家系図は長子が継げり稻の花  
いつの世も戦がありて手毬唄  
大瀧の天の川よりはじまりし  
青ざめし踏絵のマリア浮き上る  
激浪を崖がつぶして日の盛  
曖昧に生きてはをらず油照り  
木の性の現れし佛や天の川  
直情の身過ぎでありし曼珠沙花